

境港国際コンテナターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
境港管理組合	境港港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入

[ターミナル概要]

境港国際コンテナターミナル（昭和南4号岸壁）は水深-14m、岸壁延長280m、ヤード面積7.6haを有するとともに、ガントリークレーン2基、ストラドルキャリア1基、リーチスタッカー3基の荷役機械を備えています。1989年に定期コンテナ航路が開設され、現在は韓国、中国との国際定期航路並びに内航フィーダー航路が運航されています。

R7より新規耐震強化岸壁築造及び約3haのコンテナヤード拡張に着手し、災害に強いターミナルを目指して整備を進めています。脱炭素化に向けた取組として、インバータ制御方式のガントリークレーン2基により荷役を行っており、今後、ヤード照明のLED化など、カーボンニュートラルポートの形成に取り組んでいきます。



CNP Certification

認証レベル
Level 1

(認証日 令和8年8月25日)

CO₂排出量原単位

-

(算出に必要な一部情報が不足)



インバータ制御方式によるガントリークレーン（全2基）



境港港湾脱炭素化推進協議会